



## 春爛漫 瀬戸公園



### 子どもたちの防火への呼びかけにこたえよう ～幼年消防クラブポスター展

■春の火災予防運動期間に合わせ防火への意識を高めてもらうため、南薩地区消防組合の幼年消防クラブポスター展が開催されました。

各幼年消防クラブから290点の出品があり、ふじ幼年消防隊の町頭優生くん（6歳）の作品が金賞に選ばれました。町頭くんは「火事を起こさないように火遊びはしないでほしいという思いで描いた。金賞をもらえて家族がとても喜んでくれた」と嬉しそうに話してくれました。

期間中（3月1日～7日）、優秀作品が枕崎や南さつま市の7会場で展示され、子どもたちの明るく、いきいきとした表現のポスターが火災予防に貢献しました。



### 100歳おめでとうございます ～下園ツエさん（寿町）

■下園ツエさんが3月8日、めでたく100歳の誕生日を迎えられ、妙見の里で市と市社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

下園さんは、空気のとても澄んだ山の中で米や芋、野菜などをつくっていたそうです。また、お孫さんに会いに長崎まで行ったことなど思い出話を懐かしそうに笑顔で話っていました。

これからもお元気で長生きしてください。



▲たくさんの水産高校生徒や見学者の歓声を浴び次々に水揚げされる大きなマグロ



▲マグロは漁協職員らにより次々に仕分けされトラックに積み込まれていく

### ハワイ沖からただいま 青春のいっぱい詰まった 『水高マグロ』41ト水揚げ

■鹿児島水産高校の実習生19人を乗せた実習船「薩摩青雲丸」が3月19日、71日間のハワイ沖での実習を終えて枕崎港に帰港し、マグロの水揚げを行いました。ハワイ沖での実習は年3回で、同校のPRや地域活性化のため、2年前から年1回、枕崎での水揚げを始めています。

業で学んだことを今後に生かしたい」とあいさつ。帰港式で実習生を代表して佐藤寛くんが「厳しい操業で学んだことを今後生かしたい」とあいさつ。帰港式が終わると水揚げが始まり、魚槽から次々とマグロがクレーンで上げられ、実習生の家族や見学者から大きな歓声が上がりました。今回の水揚げ量は41ト。県漁連や地元元卸業者が購入し、県内スーパーで『水高マグロ』として、また、5月のかつおまつりでも販売される予定です。



### 6年間の思い出を胸に卒業 新たな門出 ～市内小学校で卒業式

■市内小学校の卒業式が3月24日に行われました。このうち立神小学校では57人が卒業。また、昭和23年に現在の立神小学校となってから今回で卒業生が5,000人を超えました。

写真は同小学校の5,000人目の卒業生となった大畠未都来さん。新村隆実校長が「5,000号 おめでとう」と卒業証書を手渡すと、希望に満ちた表情で堂々と受け取りました。大畠さんは「6年間はあっという間に過ぎた。いつもみんなと仲良く笑顔でいられた。将来は小児科医になってたくさん命を救いたい」と話してくれました。

今年卒業した小学生は、市全体で451人でした。みなさんの中学校での更なる飛躍を期待しています。



### 体験すると もっと食が楽しくなる ～体験型まくらざき食育まつり

■体験型まくらざき食育まつりが3月7日、まくらざき保育園で開催されました。当日はあいにく小雨まじりの一日でしたが、市民をはじめ、市外からのツアー客が大勢詰めかけるなど大盛況となりました。

郷土の伝統に学び、豊かな『食』を考え、そして伝えていきたいという思いから、枕崎の食を考える会（山崎巴代治会長）が始めたこのまつりは、今年で2回目の開催となりました。餅つきや椿油搾り、かつおの腹皮炭火焼など用意された13種類のメニューはすべて自分で触ったり調理したりする体験型。家族や友人らと楽しく体験する姿も多く見られ、豊かな郷土の恵みに感謝する機会となりました。